

## 平成11年全国消費実態調査(主要耐久消費財に関する結果速報)

1 平成11年全国消費実態調査で調査した耐久消費財のうち，所有数量が多い品目，普及率が高い品目，平成6年の所有数量と比べて増加率，減少率が高い品目は表1のとおり。

表1 1000世帯当たり所有数量，普及率，増加率（減少率）が高い上位5品目

二人以上の一般世帯

	品 目 名	所有数量 (台)	普及率 (%)	増加率 (%)
所有数量が多い 耐久消費財	カラーテレビ	2,318	99.3	4.7
	ルームエアコン	2,056	84.2	23.6
	整理だんす（作り付けを除く）	2,056	91.8	- 6.6
	洋服だんす（作り付けを除く）	1,671	90.5	- 4.3
	茶だんす・食器戸棚	1,566	95.5	1.2
普及率が高い 耐久消費財	電気洗濯機	1,098	99.4	- 1.1
	カラーテレビ	2,318	99.3	4.7
	電気掃除機	1,428	99.2	3.6
	電気冷蔵庫	1,281	99.2	2.6
	茶だんす・食器戸棚	1,566	95.5	1.2
所有数量の増加率が 高い品目	ファクシミリ（コピー付を含む）	337	33.1	247.4
	パソコン	485	37.7	155.3
	温水洗浄便座	497	41.6	87.5
	システムキッチン	440	42.9	53.8
	洗髪洗面化粧台	507	45.6	35.9
所有数量の減少率が 高い品目	太陽熱温水器	116	11.5	- 15.9
	鏡台（ドレッサー）	856	73.8	- 15.7
	応接セット（3点セット以上）	298	28.3	- 12.9
	オートバイ・スクータ	235	19.7	- 11.7
	サイドボード・リビングボード	567	47.5	- 11.1

平成6年の所有数量と比較可能な耐久消費財39品目のうち

増加した耐久消費財：26品目 減少した耐久消費財：13品目

所有数量とは，1000世帯当たりの所有数量を表す。

普及率とは，当該耐久消費財を保有している世帯の割合を表す。

増加率とは，平成6年から11年までの5年間の所有数量の増加率を表す。

2 パソコン，ファクシミリなど情報・通信関連耐久消費財が大幅に増加。

- ・パソコン（所有数量485台，普及率37.7%）は，平成6年から11年には2.6倍に増加。ファクシミリ（所有数量337台，普及率33.1%）も3.5倍に増加。
- ・携帯電話の所有数量は1,061台，普及率は64.9%。
- ・ワープロの所有数量は508台，普及率は44.8%。

資料：総務庁統計局